

テーマ：重度・重複障害児（者）の就労を目指したICT活用の可能性

講師：福岡市立今津特別支援学校教諭 福島勇氏

H30.08.09 PM19:00-20:30 ハートセンター5階パソコン室

講師:1名 参加者:8名 NPO:4名 計:13名

【内容】

今回のテーマは、「重度・重複障害児（者）の就労を目指したICT活用の可能性」と題し、福岡市立今津特別支援学校教諭 福島勇氏が講師で、就労に向け、ICTの可能性と気づきを支援者が関わる方法の体験会を伺った。



就労に対してアメリカや日本で、国内外の重度といわれる方々の生き方やハンディを持って、その強みをどう活かすかの価値観で、電子機器ツールが、各個人の生活力の発想を産む強さが求められるような気がしました。

ただ、本人にも、その気づきを持つ教育が改めて問われ、可能性の選択肢をどの程度、支援者とともに作り

上げていくかの話を聞いて感じた。

地域で大人になり、電子機器を活用した生活支援など、支援学校の校区ごとに、その支援学校の校長の裁量と理解により、支援体制が整っていることと、実際の各福祉等の分野との連携は課題として感じた。同時に、これも地域の意識差や様々な要因の格差であるのではないかと感じました。

決めせられた就労に対する選択肢の狭さだけを見るのではなく、個人のできる可能性で、何か工夫した提案により今後の就労の幅が広がるような気がしました。

【アンケート回答】

A.内容に対する感想の度合 4/8 回答

大変参考になった1件 参考になった3件

B. 参考になった点や判りにくい点などの感想

- 卒後の大人の方のICT活用の事例は参考になるので、仕事をしている方も含め、もっと教えていただきたいです。
- テクノロジーの概念が良く分かりました。
- 「DropTalk」は内容をよく知った上で利用してみたい。実際使用するとなると、どのような手続きで活用できるか詳しい過程を知りたい。

C.現在問題抱えている問題点

- 発達障害児・者のコミュニケーション

D. 開催に対し、改善・希望内容

- 特に使命は出来ませんが、就労している本人さんの話が聞きたいです。知的身体など障害種問わず、働く楽しさ、苦勞したことなど生の声を聞きたい。

E.NPOへ問合せ・希望など

土曜日から、日曜日の日中

G.職種分野

福祉 1 名 教育 3 名

H.職種 所属・資格等

児童ディサービス指導員 1 名 (親) 教諭
3 名 特別支援学校

I.開催の情報の入手の媒体

知合い・職場 4 件

J.今後の興味 (複数回答あり)

福祉 3 件 (情報支援 1 件 e-Atc1 件) 医療
1 件 教育 1 件 就労 3 件



福祉情報支援セミナー事業

《福祉情報支援 (e - A t c) 研修会コース》